

振興計画体系					総合戦略体系	事業名	事業目的	事業内容	令和5年度 事業費(千円)				前年度比	実施状況	成果	課題	今後の方向性
									国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計					
3	2	2	1	1	産地生産基盤パワーアップ事業	生産施設、集出荷施設及び加工施設を整備し、高収益化に向けた取組を総合的に支援する。	・農作業の省力・高品質化機械の導入経費の助成を行い生産性の向上、農業の振興を図る。 ・補助金は事業費の1/2以内。	57,652	0	0	57,652	57,652	R4実績 対象者: ピーマン生産者12名 ヒートポンプ79台 事業費:137,605,720円 補助金: 57,652,000円	ヒートポンプ導入により、重油価格高騰に対応するよう準備することができ、収益性向上に寄与できた。	-	現状維持	
3	2	3			鳥獣被害対策実践事業	「寄せ付けない」、「侵入を防止する」、「個体数を減らす」の3つの取組を総合的かつ一体的に進め、野生鳥獣による農作物の被害防止・軽減を図る。	講習会補助(推進事業)、ワイヤーメッシュ柵設置(整備事業)、捕獲報償金(緊急捕獲活動支援事業)	3,575	0	1	3,576	△ 1,220	R4実績 1 推進事業 講習会補助 3名 15,000円 捕獲用わな 1基 85,000円 2 整備事業 ワイヤーメッシュ 2,160㎡ 2,066,000円 3 緊急捕獲活動支援事業 捕獲報償金 1,253,000円	総合的な被害防止対策を取り組み、鳥獣被害の防止、軽減を図れた。	当該事業により、農作物被害について、より一層の捕獲を行い被害の軽減を図る必要がある。	現状維持	
3	2	2			志布志市農業用廃プラスチック類適正処理推進事業	農業用廃プラスチック類の回収と処理をし、農家へ不法投棄や野焼きなどの不正処理をさせないため。	・総会開催、負担金交付事務 ・年3回の回収 ・適正処理の啓発、防止、苦情処理	0	0	117	117	0	R4実績 年3回の廃プラ類の回収 適正処理の啓発、防止、苦情処理 塩ビ・ポリ:172.251kg 廃缶:434本 廃農薬:193kg	排出農家数、回収量ともに横ばいで、協議会の回収を利用されない農家は、排出者として自らの責任において、自己処理を行っており、現状維持の状態である。	-	現状維持	
3	2	2			販売流通促進事業	各生産者組織の生産、出荷、栽培技術の向上を図るため。	生産者組織に対し生産振興に関する技術指導、支援並びに研修参加費の援助を行う。	0	0	45	45	45	R4実績 あおぞら農協園芸振興課 先進地研修実施	野菜苗育成の先進地研修を実施するなどし、生産振興に関する技術習得に寄与した。	野菜の販売流通促進に対する支援であることを鑑み、活動内容等を含め、補助団体との協議が必要である。	廃止予定	
3	2	2			生産性の高い水田農業確立推進事業	地域の水田を最大限に活用し、除用に応じた米(主食用、飼料など)の生産の推進や生産性の高い水田農業の確立を図る。	・実効性のある需要調整の推進 ・地域振興作物や新規需要米等の産地化、作物の団地化及び水田フル活用等の	178	0	1	179	△ 23	令和4年度生産 生産量 2,324 t 面積 488.2ha 単収 476.03 kg/10a	主食用米からWCS用稲や加工用米等に転換する生産者が増加傾向にあり、直接支払い交付金を活用することで、農家所得の向上が図	-	現状維持	
3	2	2			志布志市水稲航空防除連絡協議会運営事業	大規模農家や高齢者等の防除に関する負担を軽減することと一斉防除による防除効果を高めるため。	航空防除実施の事務処理及び早期・普通期無人ヘリ防除部会、松山地区防除組合の連絡調整等	0	0	15	15	△ 51	令和4年度防除実施面積 早期無人ヘリ:187.5ha 普通期無人ヘリ:292.7ha 松山一斉防除:79.5ha 合計 559.7ha	安全な航空防除事業が実施できたとともに、稲作農家の労働力軽減が図られた。	-	廃止終了	
3	2	2			農地耕作条件改善事業(病害虫対策型)	サツマイモ基腐病のまん延防止を図るため、病害虫対策が必要な地域で、次期作に向けた排水対策及び土壌改良に対して支援する。	1 反転耕 2 混層耕 3 堆肥施用 4 明渠排水	29,519	0	0	29,519	0	R4実績 1 混層耕 104.06ha 2 堆肥施用 84.82ha 3 明渠排水 11.870m	病害虫の発生した土壌を混ぜ、堆肥等の投入によりさつまいも残渣の分解を促進し、排水不良となっているほ場の排水性向上により、病害虫の予防が図られた。	-	現状維持	